

教科	社会	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	5	“世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。 (1) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などをもとに、世界の地域構成を大観し理解できる。 (2) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。”	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。	国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化についてわかることや、さまざまな種類の世界地図の特徴を考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
日本の姿	5	“日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。 (1) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などをもとに、日本の地域構成を大観し理解できる。 (2) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。 (3) 世界のなかでの日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決する。”	世界のなかでの日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界のなかでの日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。	世界のなかでの日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	世界のなかでの日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
人々の生活環境の変化	10	“場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。 (1) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然および社会的条件に影響を与えたりすることを理解できる。 (2) 世界各地における人々の生活やその変容をもとに、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解できる。 (3) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。”	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
アジア州	9	“アジア州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) アジア州に暮らす人々の生活をもとに、アジア州の地域的特色を大観し理解できる。 (3) アジア州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) アジア州の課題について、その影響と解決を主体的に追究できる。”	多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。

ヨーロッパ州	9	“ヨーロッパ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につけるようにする。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地的特色を大観し理解できる。 (3) ヨーロッパ州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。”	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地的特色と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に追究しようとしている。
アフリカ州	5	“アフリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) アフリカ州に暮らす人々の生活をもとに、アフリカ州の地的特色を大観し理解できる。 (3) アフリカ州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) アフリカ州の歴史的な経緯に着目しながら、アフリカ州が抱える課題やその解決を主体的に追究できる。”	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察し表現している。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
北アメリカ州	6	“北アメリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) 北アメリカ州に暮らす人々の生活をもとに、北アメリカ州の地的特色を大観し理解できる。 (3) 北アメリカ州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 北アメリカ州の強大な産業の発展に着目しながら、北アメリカ州が抱える課題やその解決を主体的に追究できる。”	世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。	北アメリカ州の地的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
南アメリカ州	6	“南アメリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) 南アメリカ州に暮らす人々の生活をもとに、南アメリカ州の地的特色を大観し理解できる。 (3) 南アメリカ州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 南アメリカ州の地的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究できる。”	多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。	ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連づけて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	農地や鉱山の開発に着目しながら、南アメリカ州の地的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究しようとしている。

オセアニア州	5	“オセアニア州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) オセアニア州に暮らす人々の生活をもとに、オセアニア州の地的特色を大観し理解できる。 (3) オセアニア州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 白豪主義から多文化社会への変化に着目しながら、オセアニア州の地的特色や地域の新たな課題を主体的に追究できる。”	オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地的特色を理解している。	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。
人類の出現と文明のおこり	6	・人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 ・それぞれの古代文明には、農耕や牧畜を基盤にして築かれたこと、文字の使用、国家がおこったことなど、共通する特色があることを理解する。	世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。	人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の成り立ちと倭の王権	5	・日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考える。 ・日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとの関わりを通して理解する。	日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、東アジアの文明の影響を受けながら日本列島で国家が形成されていったことを理解している。	農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、農耕の広まりによる人々の生活の変化や、大和政権による統一と東アジアとの関わりなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本列島での人々の生活の変化と、国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
大帝国の出現と律令国家の形成	5	・7～8世紀の世界では、東西に大帝国有成立し、シルクロードを通じた国際交流が盛んになったことを理解する。 ・日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。	律令国家の確立にいたるまでの過程、摂関政治などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、東アジアの動きが日本の政治に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
貴族社会の発展	6	・天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。 ・国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解する。	仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、都の貴族や地方の農民の暮らし、摂関政治と天平・国風文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。	天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、国際色豊かな文化から日本独自の文化が生み出されたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

武家政治の始まり	6	・武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まったことを理解する。 ・武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。	鎌倉幕府の成立、鎌倉時代の文化や仏教などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。	武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。	武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。
ユーラシアの動きと武家政治の変	7	・13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。 ・南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関わりとともに理解する。	元軍の襲来や、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、元軍の襲来がユーラシアの変化の中で起こったことや、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解している。	モンゴル帝国(元)の拡大の様子や、武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
結びつく民衆と下剋上の社会	4	・応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などから、武家政治の展開について理解する。 ・農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	農業や商工業の発達に着目して、事象を相互に関連づけるなどして、民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。